

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)			
事務事業名	結核予防及び各種予防接種経費	事業番号	91	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	定期接種の対象項目が増えており、増加と思われる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	BCGや麻しん風しんなどワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化やまん延を防ぐことを目的に市内医療機関の協力を得て実施している。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	ワクチンを接種することにより、病気の重症化を防ぐことができ、保護者等にワクチンの重要性を分かりやすく説明し、接種率の向上に取り組む。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	二種混合接種率	76.4%	91.5%	73.2%	106.5%	89.5%		100%	100%
2	四種混合接種率	92.5%	91.5%	96.5%	98.1%	88.9%		100%	100%
3	BCG接種率	97.5%	92.5%	92.4%	98.8%	85.0%		100%	100%
4	麻しん風しん接種率	93.1%	91.4%	95.8%	85.3%	97.2%		100%	100%
事業費(=下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			51,009		50,073		54,819		
内訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他								272
	一般財源				51,009		50,073		54,547
人員(人工)					0.50		0.50		0.50
職員人件費(=人員(人工)× 7,696 千円)					3,848		3,848		3,848
総事業費(=事業費+職員人件費)					54,857		53,921		58,667
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)					613		602		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)					617		607		
単位コスト実績値 3(=総事業費÷成果実績値)					645		634		
単位コスト実績値 4(=総事業費÷成果実績値)					564		555		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	厚生労働省の定期接種の定められた予防接種に基づき、見直し・改善を行っている。
今後の動向・市民ニーズなど	厚生労働省の定期接種の定められた予防接種に基づき、今後も新たな予防接種が追加される可能性がある。 令和元年度より、大人の風しんが定期接種化される。(期間:令和3年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	結核等伝染性の病気のまん延を防いでいることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 現在も予防接種については、市内医療機関と連携して行っている。国で定められている予防接種であり、市が積極的に関わることが必要
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☒ ある ☐ 一部ある ☐ ない 厚生労働省の定期接種の定められた予防接種が追加されることに見直しを図る必要がある。 ・平成28年度より、日本脳炎、B型肝炎の予防接種が定期接種化 ・令和元年度より、大人の風しんが定期接種化(期間:令和3年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 厚生労働省の定期接種の定められた予防接種に基づき、市内医療機関に委託し実施している状況にある。現在も市内医療機関の協力を得て予防接種を実施していることから、単位コストを工夫することは難しい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 現在のところ事業の統合はないが、大人の風しん事業を統合することは可能である。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☒ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☐ 既に負担がある 高齢者のインフルエンザ予防接種及び高齢者肺炎球菌予防接種は、国に定められている定期接種ではあるが、一部本人負担がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)			
事務事業名	保健事業経費		事業番号	92
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	がん検診、肝炎ウィルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等に係る経費	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	疾病の早期発見、早期治療を推進し、健康長寿を目指す。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	がん検診受診率 胃がん	6.9%	7.4%	7.3%	5.6%	5.7%		30.0%	40.0%
2	がん検診受診率 肺がん	8.0%	8.3%	8.6%	3.9%	3.8%		30.0%	40.0%
3	がん検診受診率 大腸がん	7.5%	9.2%	8.1%	4.8%	4.4%		30.0%	40.0%
4	がん検診受診率 子宮がん	20.1%	20.1%	19.7%	13.9%	14.1%		40.0%	50.0%
5	がん検診受診率 乳がん	16.2%	15.1%	14.2%	11.2%	11.5%		40.0%	50.0%
事業費 (＝下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			22,077		16,771		19,465		
内 訳	国庫支出金		607		812		993		
	地方債								
	その他		909		547		870		
	一般財源		20,561		15,412		17,602		
人員(人工)			2.00		2.00		2.00		
職員人件費 (＝人員(人工) × 7,696 千円)			15,392		15,392		15,392		
総事業費 (＝事業費＋職員人件費)			37,469		32,163		34,857		
単位コスト実績値 1 (＝総事業費÷成果実績値)			6,574		5,643				
単位コスト実績値 2 (＝総事業費÷成果実績値)			9,992		8,577				
単位コスト実績値 3 (＝総事業費÷成果実績値)			8,614		7,394				
単位コスト実績値 4 (＝総事業費÷成果実績値)			2,657		2,281				
単位コスト実績値 5 (＝総事業費÷成果実績値)			3,258		2,797				

4 事務事業の見直し状況や行政課題など (事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	各健診(検診)の受診率向上を図るため、イベントや市内スーパー等へのPRチラシの配布などを行っている。 平成29年度より、乳がん検診及び子宮がん検診の受診機会拡大のため、レディース検診を実施。
今後の動向・市民ニーズなど	平日に仕事等で病院等で健診が受けられない方も受けられるよう引き続き、土日での受診機会を設ける。 また、令和元年度は歯周疾患検診の受診率向上のため、助成対象者に個別に通知を送付するなど、周知徹底に努める。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☐ 結びついている ☒ 一部結びついている ☐ 結びついていない レディース検診の実施により新規受診者の獲得につながっており、定期的に受診する方も含め、市民の健康に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 現在も釧路がん検診センター等の協力を得て実施している
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 平成27年2月に健康増進計画を策定し、健康寿命を延ばし、各健診(検診)を市民が積極的に受診することが必要である。まずは、受診率向上を図り、健康意識を高める取り組みが必要。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 受診率向上を図るため、自己負担ではあるが集団検診の検診項目に前立腺がん(PSA)検査を平成28年から導入した
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業内容が検診(健診)であることから、他の事業との統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 現在も健診(検診)項目によっては、一部負担又は全額負担の検診(健診)もある。今後も健診(検診)の充実を図るうえで、受益者の負担がでる可能性はある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☒ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月